

伝承遊びに関する一考察

A Consideration on Japanese Traditional Playing Games

瀬谷元子

Motoko SEYA

## 1. はじめに

現在、子どもの遊びの価値が問い直され、話題になる場面が多い。「遊び」の中に含まれる人間形成を内包する教育力、あるいは文化伝承的側面等、遊びのもつ多面性も論じられている。

本報告は、「伝承遊びが、なぜ価値が見直され、問い直されているのか」を社会的側面から考察するとともに、次世代の保育者と期待されている、つくば国際短期大学・保育科1年生の若者達である学生の、伝承遊びに関する興味と意識について調査した結果を考察・報告するものである。

## 2. 「伝承遊びの価値の見直し」に関する社会的側面からの一考察

21世紀は、IT革命とテロで幕開けとなった。明るい未来を予想していた20世紀の夢とは異なり、思いがけない方向へ人類を導くこととなった。IT革命は、情報通信や医療等の分野ではこれまでは、不可能と考えられていたことを可能にする等、私達の生活に大きな利便性をもたらした。また、IT革命によるグローバル化の波は、様々な分野に及び、私達の生活は、地球規模で論じられることが多くなった。さらに、IT革命によるグローバル化は、スピード化に拍車をかけるものとなり、急激な社会変化をもたらした。これらは、結果的には、伝統文化価値を大きく揺るがすものとなり、IT革命によるグローバル化に対する強烈な反発も、(テロというような形で)起こることとなった。現在は、IT技術とうまくつきあうことが必要であり、人類として新しい英知が求められている。

戦後日本は、経済活動で先進国の仲間入りを果たし、多くの科学技術分野でめざましい活躍をしてきた。しかし、現在、グローバル化の中で新たな競争を強いられてきている。グローバルスタンダードが求められ論じられる中で、今、まさに問われているのは、日本人としてのアイデンティティーであり、個性である。アイデンティティーの確立期にある若者の意識を考えてみた場合、日本の若者は、他国の若者と比較して自己容認度(自分の存在価値を自身で認める)が低く、自信がないとの調査結果もある。これに対して、幼児期から自尊感情を持たせる教育や日本の伝統を見直しながら日本国に生まれたものとしての誇りを得させる教育も必要であると考えられている。

また、非常にテンポの速い現代生活の中で、スローライフといわれるように、自身を見直しながらかゆ々と生活をするという価値も見直されてきており、その中で、伝統を見直す動きも見られていることも事実である。

これらは日本だけの問題ではなく、それぞれの国や地域で文化や伝統について、改めて問い直されており、このような広範囲な視点から考えを求められる時代は、今までにはなかったのではないと思われる。

日本の伝統文化については、すばらしいものが沢山ある。しかし、これらが様々な理由で失われつつあることは問題にされて久しい。

例えば、着物についてであるが、アンティーク着物や夏のゆかたが着用方法を新たに工夫したりしながら、若者に受け入れられて、流行したりしている。また、「祭り」が地域のコミュニケーションづくりの手段として見直されたりしている、等に見られることである。日本の家屋や住まい方の知恵、食生活にいたるまで、見直しの風潮は広範囲にわたるものとなってきた。

さらに着物という点で付け加えるならば、つくば国際短期大学が平成15年12月に行ったミュージックフェスティバルの際に、付属幼稚園児達が伝統文化のゆかたを着用し、「わらべうた」を披露してくれた。大変かわいらしく、見るものに感動を与えた。この感動は、伝統を継承してゆこうとする、文化に対する洞察と教育に対する信念のバックボーンに支えられていることが感じられたために、一層深いものとなっており、はだしの姿と相まって、教育に対して深い関心を持ち、かつ、感受性がある者であれば、その発表の中に、網羅されている多面的な教育活動の価値の一端を見るのであり、大変貴重な活動と感じられた。

さて、先日ラジオを聴いていると、政府広報の中で「[子どもを抱きしめて育てましょう。]この当たり前のことが、当たり前でなくなる事態が起こっています。」と言っていた。保育士を育成している教育機関に所属する者にとっては、「子どもを愛情を持って育む」という最も基本的で、これこそ当たり前の教育活動を根本から見直さなければならないところまで、実はきているのだという危機感を持つのである。子どもを取り巻く諸問題については、急速な社会変化、都市化、核家族化、少子化、等の家族関係や教育問題等々、一層複雑な様相をおびてきている。

このような中、子ども達の生活の中に、昔ながらの「遊び」が失われており、幼児達は家の中で、テレビやビデオあるいはコンピューターゲームで遊ぶことが多くなっている。安心して戸外遊びができる場所も失われており、これらより、「子どもが子どもとして生きられない時代となっている。」ことを述べ、憂いている有識者は多い。

最近、このような見地や地域コミュニケーションの立場も合わせながら幼稚園や小学校低学年では、地域のお年寄りから、むかし遊びを伝えてもらおうとの試みがなされている。そこで子ども達は、日本の伝統的な遊びである、おはじき、お手玉、カルタ、羽根つき、竹馬、ベーゴマ、こま回し、等を教えてもらっている。こういった場面での、お年寄りの手さばきは見事なものであり、ゆっくりと焦らず、子どもを愛情深く、気配りしながら見守り、伝承行動をしてゆく姿には、あたたかいぬくもりが感じられる。これらの無形文化的教育資産の伝承活動が担う役割に期待されているのは、単に過去が失われてゆくからといった感傷的な理由だけではない。幼児期の健やかな成長に、むかし遊びの中にある、手作りで、素朴な、人として当たり前の「抱きしめる」様なぬくもりのある教育力に期待するからであろう。このような観点から、保育園と老人ケア施設の併設や、幼稚園でのむかし遊びの取り入れも目立ってきている。

### 3. 調査内容・結果

#### (1) 調査方法

平成15年度入学の保育科1年生159名の伝承遊びに関する意識を調査した。この調査をする際に、「子どもと遊び（かこさとし著）」を参考にし、この中に書かれている遊びの中から、興味を引かれる遊び5つを選択させ、自由に理由を記述させた。

#### (2) 調査結果

その結果は、別図及び別表に示すとおりであった。また、多く選択されたものから順に10の遊びを示すと表1のとおりであった。さらに、これらの伝承遊び（上位5つ）を選んだ理由として、学生達が記述した内容について主なものを以下に例示する。

・・・・・・・・ 学生達が選んだ理由（主なもの） ・・・・・・・・

[あやとり]

- ・小さいときに遊んで楽しかった。
- ・一本の紐がいろんな形に変化するので面白いし、記憶したり、考えたりして創造性がある。また、友達や親とスキンシップを取りながらできるから。
- ・母が編み物をする季節になるとその毛糸をちょっともらってやっていた。
- ・10本の指でどう組み合わせればこの形になるのか、いろいろな試行錯誤の末やっと形になったとき、本当にうれしかった。
- ・完成形だけで楽しむのではなく、その道程や偶然間違えたものが何か面白いものになる等新しい発見ができるし、創造性も豊かになる。

等

表1 保育科1年生159名が選んだ伝承遊び（上位10項目）

順位	選択された遊び	選んだ人数
1	あやとり	117
2	鬼ごっこ	110
3	かくれんぼ	75
4	ササ舟	73
5	影ふみ	60
6	お手玉	48
7	絵かき歌	39
8	おはじき	32
9	石けり	31
10	じゃんけん遊び	30

### [鬼ごっこ]

- ・小さい頃一番遊ぶ回数が多かった。自分たちでさまざまな鬼ごっこを作ることができるのであきない。
  - ・運動能力もつくし、みんなと遊ぶと楽しいし、集団行動が身につく。ルール等も話し合ったり、何より楽しい。いまだに遊べる。
  - ・集団で動くおもしろさや仲間意識が育つし、とてもよい運動にもなる。
  - ・つかまるといったドキドキ感や、つかまえる（タッチする）というおもしろさがいつでもあるし、必ずみんなが笑顔になる。
  - ・私は小さいときから一番嫌いな遊びが鬼ごっこだったので、あまり遊んだ記憶がないが、いま思うともったいないことをしたと思う。
  - ・道具を使わないでできる。そのほかに、楽しみながら走運動ができる。それにいろいろな条件や制限をつけると遊び方が広がる。ただ走るのが嫌いな子でも鬼ごっこという形だったら走運動という感覚が少ないと思う。
- 等

### [かくれんぼ]

- ・ルールが簡単だし、捕まえたり、逃げたり、隠れたりするとき、走ったり、登ったり、飛んだりと体をたくさん動かす遊びだから。それに隠れるのに、知恵も使ったりするから、いいと思う。
  - ・この前の幼稚園実習に行ったとき、園児に誘われていっしょにやったのを思い出したから。
  - ・隠れるところがあればどこでもできるから。昔よくやった好きな遊びだった。鬼に見つかるまでのあのドキドキ感がいい。どこに隠れようかとか、ここに自分が入れるかどうか考えながらやる。頭を使うから。
  - ・自分は鬼になりたくないから、絶対見つからないような場所を探して隠れていた記憶があり、すごく懐かしいなと思ったから。
  - ・知恵と工夫でいろいろな場所に隠れ、遊びながら見つからない方法を考えるなどして、スリルを味わいながら、自分の知恵が広がってより楽しめるから。
- 等

### [ササ舟]

- ・昔よくやった。家の裏が川だったので、休みのたびに友達と競争していた。どうしたら転覆しないかと、考えるのが好きだった。
- ・昔、親とササ舟を何個も作って、近所の川で流した思い出があるから。それに植物で（自然のもので）何かを作って遊ぶのは、いいと思ったから。楽しいから。
- ・家にあったササで作り、川に流して遊んでいた。

- ・この遊びもやった覚えがある。しかし、今の子どもがやっているのを見たことがない。テレビゲームもいいが、たまには草や木を使って自然と遊ぶのもいいのではないかと思う。
- ・私も小さい頃、祖母に教えてもらって作って遊んだのを覚えていたから。

等

#### [影ふみ]

- ・小さい頃よくやっていたのがすごく懐かしい。夕方になると、影がのびたりして、逃げるのが大変だった。ジャンプすれば足元が踏まれない。しゃがめば頭が踏まれない。理科で習うようなことを普通にやっていたのが、今思うとすごいと思った。
- ・私は、影ふみの応用として、色影ふみ鬼という、色鬼と影ふみをいっしょにした遊びをやっていた。影ふみの内容も、本とはちがいで、影の中に逃げ込んだら10秒以内に出てこなくてはいけないというルールがあったりした。この遊びはルールや内容を変えるだけでいろいろ変わるから面白い。
- ・小さいときによく遊んだ。特に、夕方あたりが影が長くて逃げるのが大変だったが、それが楽しかった。
- ・影は、時に長く、時に短くなったりするので、そういう性質を生かしながら、逃げたり、隠れたりするところに面白さがあるから。
- ・たまにしかやったことがなかったけど、保育士になったら、簡単なので園児に教えてあげようと思ったから。

等

・・・・・・・・ 学生達を選んだ理由（終わり） ・・・・・・・・

#### 4. 伝承遊びの保育における役割に関する一考察

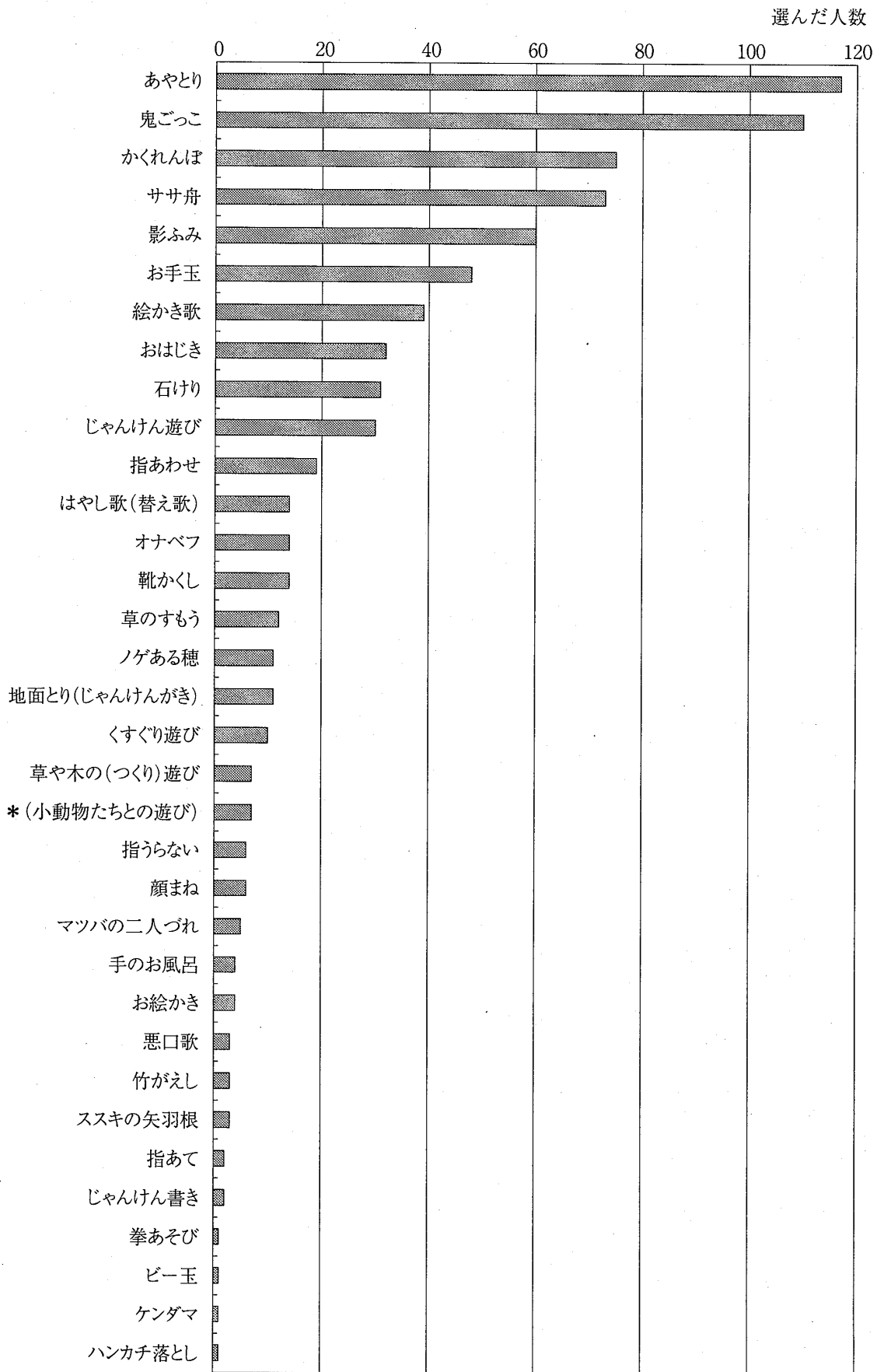
上に記述した「遊び」についての調査結果より、幼児期における伝承遊びの持つ教育的役割として見られることは、次のようなものである。

- 情緒の安定を促す
- 集団的な人間形成に役立つ（集団内でのルールや役割分担を学ぶ機会が与えられる）
- 運動能力を伸ばす
- 知恵の発達を促し、想像力を発達させ、かつ、創造力を高める

このように、日本の伝承遊びは、（無形文化的）教育資産として高い価値を有するものであると言え、保育現場でより有効に活用してゆくべきものと考えられる。幸いにして、調査結果では、

- ・伝承遊びの中でも、自分自身が子ども時代に経験した遊びに対しては愛着が深い
- ・（現在でも）親や祖母から教えられるという伝承活動が行われている

等というように、伝承活動を継続してゆく基盤はある程度残っていることが明らかになった。



別図 保育科1年生159名が「子どもと遊び」より選んだ、興味引かれる遊び(全体)

別表 保育科1年生159名が「子どもと遊び」より選んだ、興味引かれる遊び5つ

1	オナベフ	石けり	マツバの二人づれ	ススキの矢羽根	影ふみ
2	オナベフ	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	
3	ササ舟	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
4	指あわせ	ササ舟	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
5	石けり	鬼ごっこ	ササ舟	絵かき歌	おはじき
6	おはじき	あやとり	影ふみ	かくれんぼ	はやし歌 (替え歌)
7	くすぐり遊び	絵かき歌 (金魚さかな)	絵かき歌 (ひげ親父だんご)	石けり	ササ舟
8	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ	指うらない
9	オナベフ	あやとり	鬼ごっこ		
10	指うらない	ササ舟	ススキの矢羽根	お手玉	影ふみ
11	くすぐり遊び	石けり	ササ舟	お手玉	影ふみ
12	石けり	竹がえし	絵かき歌	影ふみ	あやとり
13	くすぐり遊び	石けり	草のすもう	お手玉	鬼ごっこ
14	ササ舟	草のすもう	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
15	くすぐり遊び	手のおふろ	ササ舟	かくれんぼ	あやとり
16	ササ舟	ノゲある穂	あやとり	鬼ごっこ	マツバの二人づれ
17	指うらない	ノゲある穂	鬼ごっこ	影ふみ	あやとり
18	指あわせ	指あて	じゃんけん遊び	ササ舟	鬼ごっこ
19	指うらない	絵かき歌 (金魚さかな)	石けり	ササ舟	ノゲある穂
20	じゃんけん遊び	じゃんけん書き	ノゲある穂	かくれんぼ	鬼ごっこ
21	かくれんぼ	お手玉	あやとり	絵かき歌	指あわせ
22	顔まね	絵かき歌	ササ舟	あやとり	かくれんぼ
23	指あわせ	石けり	ササ舟	あやとり	靴かくし
24	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ	あやとり	ササ舟
25	おはじき	お手玉	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
26	影ふみ	かくれんぼ	地面とり (じゃんけんがき)	お手玉	おはじき
27	オナベフ	ササ舟	影ふみ	あやとり	じゃんけん遊び
28	ササ舟	あやとり	かくれんぼ	ノゲある穂	鬼ごっこ
29	顔まね	じゃんけん遊び	ササ舟	草のすもう	鬼ごっこ
30	ササ舟	あやとり	お手玉	地面とり	絵かき歌
31	くすぐり遊び	指あわせ	あやとり	靴かくし	ススキの矢羽根
32	かくれんぼ	あやとり	影ふみ	絵かき歌	鬼ごっこ
33	顔まね	鬼ごっこ	あやとり	拳あそび	くすぐり遊び
34	くすぐり遊び	手のおふろ	指あて	絵かき歌 (金魚さかな)	靴かくし
35	指あわせ	地面とり (じゃんけんがき)	マツバの二人づれ	鬼ごっこ	じゃんけん遊び
36	地面とり (じゃんけんがき)	鬼ごっこ	あやとり	石けり	竹がえし
37	指あわせ	絵かき歌	じゃんけん遊び	ササ舟	小動物たちとの遊び
38	指うらない	じゃんけん遊び	石けり	ササ舟	鬼ごっこ
39	あやとり	オナベフ	かくれんぼ	鬼ごっこ	ササ舟
40	指あわせ	あやとり	鬼ごっこ	ササ舟	石けり
41	石けり	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ
42	ササ舟	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ
43	ササ舟	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
44	ササ舟	お手玉	あやとり	悪口歌	鬼ごっこ
45	オナベフ	石けり	草のすもう	あやとり	鬼ごっこ
46	鬼ごっこ	あやとり	ササ舟	替え歌	絵かき歌
47	地面とり (じゃんけんがき)	ササ舟	お手玉	鬼ごっこ	影ふみ
48	オナベフ	あやとり	影ふみ	石けり	竹がえし
49	石けり	お手玉	小動物たちとの遊び	かくれんぼ	草や木の (つくり) 遊び
50	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ	絵かき歌
51	靴かくし	影ふみ	おはじき		
52	鬼ごっこ	おはじき	ササ舟	絵かき歌 (金魚さかな)	石けり
53	絵かき歌 (金魚さかな)	じゃんけん遊び	石けり	あやとり	かくれんぼ



54	石けり	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ	影ふみ
55	ササ舟	ノゲある穂	あやとり	小動物たちとの遊び	鬼ごっこ
56	お手玉	あやとり	じゃんけん遊び	地面とり(じゃんけんがき)	鬼ごっこ
57	指あわせ	絵かき歌	ササ舟	おはじき	影ふみ
58	絵かき歌(金魚さかな)	じゃんけん遊び	石けり	あやとり	かくれんぼ
59	影ふみ	絵かき歌	あやとり	お手玉	かくれんぼ
60	オナベフ	石けり	お手玉	鬼ごっこ	かくれんぼ
61	オナベフ	ノゲある穂	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ
62	絵かき歌	ササ舟	お手玉	あやとり	鬼ごっこ
63	指あわせ	あやとり	かくれんぼ	影ふみ	ササ舟
64	鬼ごっこ	かくれんぼ	おはじき	お手玉	あやとり
65	あやとり	お手玉	おはじき	鬼ごっこ	かくれんぼ
66	おはじき	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ
67	じゃんけん遊び	鬼ごっこ	お手玉	ササ舟	悪口歌
68	あやとり	ササ舟			
69	あやとり	かくれんぼ	影ふみ	靴かくし	ササ舟
70	地面とり(じゃんけんがき)	ササ舟	替え歌	影ふみ	かくれんぼ
71	指あわせ	石けり	あやとり	鬼ごっこ	地面とり(じゃんけんがき)
72	絵かき歌(金魚さかな)	じゃんけん遊び	石けり	あやとり	鬼ごっこ
73	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	
74	お手玉	替え歌	鬼ごっこ	影ふみ	ササ舟
75	鬼ごっこ	あやとり	かくれんぼ	影ふみ	お手玉
76	ササ舟	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
77	草のすもう	お手玉	あやとり	替え歌	影ふみ
78	替え歌	お手玉	石けり	絵かき歌	かくれんぼ
79	石けり	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
80	顔まね	じゃんけん遊び	ササ舟	あやとり	影ふみ
81	草のすもう	かくれんぼ	鬼ごっこ	ササ舟	お手玉
82	オナベフ	ササ舟	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
83	おはじき	お手玉	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
84	ササ舟	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ	影ふみ
85	鬼ごっこ	かくれんぼ			
86	鬼ごっこ	じゃんけん遊び	かくれんぼ	あやとり	ササ舟
87	くすぐり遊び	指あわせ	絵かき歌	あやとり	かくれんぼ
88	あやとり	鬼ごっこ	絵かき	草や木の(つくり)遊び	指あわせ
89	絵かき	じゃんけん遊び	草や木の(つくり)遊び	おはじき	鬼ごっこ
90	めくら鬼	あやとり	しゃがみ鬼	絵かき歌	後ろ鬼
91	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ	おはじき	靴かくし
92	ササ舟	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	靴かくし
93	絵かき	顔まね	じゃんけん遊び	あやとり	鬼ごっこ
94	絵かき歌	ササ舟	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
95	鬼ごっこ	あやとり	石けり	じゃんけん遊び	絵かき歌
96	ササ舟	草のすもう	お手玉	あやとり	鬼ごっこ
97	あやとり	組鬼	指あわせ	草のすもう	お手玉
98	オナベフ	あやとり	しゃがみ鬼	影ふみ	かくれんぼ
99	ササ舟	おはじき	あやとり	替え歌	鬼ごっこ
100	指あわせ	あやとり	おはじき	鬼ごっこ	かくれんぼ
101	鬼ごっこ	かくれんぼ	ササ舟	影ふみ	靴かくし
102	手のおふろ	指あわせ	あやとり	替え歌	影ふみ
103	かくれんぼ	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	マツバの二人づれ
104	地面とり(じゃんけんがき)	靴かくし	かくれんぼ	あやとり	ササ舟
105	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
106	しゃがみ鬼	組鬼	絵かき歌	みかん鬼	つなぎ鬼

107	お手玉	ビー玉	けん玉	鬼ごっこ	かくれんぼ
108	石けり	草のすもう	替え歌	お手玉	あやとり
109	かくれんぼ	あやとり	じゃんけん遊び		
110	顔まね	石けり	マツバの二人づれ	鬼ごっこ	影ふみ
111	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
112	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
113	ササ舟	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ
114	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
115	指うらない	絵かき歌 (金魚さかな)	じゃんけん遊び	ササ舟	あやとり
116	絵かき	くすぐり遊び	じゃんけん遊び	ササ舟	影ふみ
117	鬼ごっこ	影ふみ	あやとり	かくれんぼ	お手玉
118	鬼ごっこ	かくれんぼ	靴かくし	影ふみ	お手玉
119	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ	靴かくし	あやとり
120	じゃんけん遊び	ササ舟	おはじき	お手玉	あやとり
121	ハンカチ落とし	色鬼	手つなぎ鬼		
122	オナベフ	草のすもう	あやとり	かくれんぼ	靴かくし
123	絵かき歌	ササ舟	おはじき	あやとり	影ふみ
124	くすぐり遊び	絵かき歌 (金魚さかな)	ササ舟	おはじき	鬼ごっこ
125	オナベフ	指あわせ	ササ舟	かくれんぼ	あやとり
126	お手玉	あやとり	替え歌	かくれんぼ	絵かき歌
127	ササ舟	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ
128	絵かき歌	鬼ごっこ	あやとり	影ふみ	色鬼
129	地面とり (じゃんけんがき)	あやとり	靴かくし	影ふみ	鬼ごっこ
130	草や木の (つくり) 遊び	お手玉	鬼ごっこ	影ふみ	小動物たちとの遊び
131	鬼ごっこ	かくれんぼ	あやとり	ササ舟	じゃんけん遊び
132	石けり	おはじき	お手玉	あやとり	ササ舟
133	絵かき	じゃんけん遊び	ササ舟	あやとり	草のすもう
134	あやとり	鬼ごっこ	ササ舟	影ふみ	おはじき
135	ササ舟	お手玉	替え歌	鬼ごっこ	かくれんぼ
136	絵かき歌	草や木の (つくり) 遊び	おはじき	あやとり	小動物たちとの遊び
137	じゃんけん遊び	絵かき歌	石けり	草や木の (つくり) 遊び	替え歌
138	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
139	石けり	ササ舟	あやとり	おはじき	
140	じゃんけん遊び	ササ舟	お手玉	あやとり	おはじき
141	草のすもう	お手玉	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
142	絵かき歌	ササ舟	あやとり	替え歌	鬼ごっこ
143	じゃんけん遊び	ササ舟	おはじき	あやとり	鬼ごっこ
144	ササ舟	ノゲある穂	影ふみ	かくれんぼ	あやとり
145	ノゲある穂	あやとり	かくれんぼ	鬼ごっこ	じゃんけん遊び
146	オナベフ	石けり	あやとり	鬼ごっこ	じゃんけん遊び
147	あやとり	かくれんぼ	鬼ごっこ	靴かくし	お手玉
148	ノゲある穂	お手玉	鬼ごっこ	あやとり	かくれんぼ
149	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ	あやとり	ササ舟
150	指あわせ	絵かき歌	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
151	じゃんけん遊び	草や木の (つくり) 遊び	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
152	ササ舟	あやとり	影ふみ	かくれんぼ	じゃんけん遊び
153	絵かき歌	地面とり (じゃんけんがき)	ササ舟	あやとり	かくれんぼ
154	絵かき歌	じゃんけん遊び	ササ舟	あやとり	かくれんぼ
155	手のおふろ	ノゲある穂	あやとり	鬼ごっこ	かくれんぼ
156	ササ舟	あやとり	影ふみ	絵かき歌	小動物たちとの遊び
157	指あわせ	絵かき歌	ササ舟	鬼ごっこ	あやとり
158	おはじき	あやとり	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ
159	鬼ごっこ	影ふみ	かくれんぼ	小動物たちとの遊び	悪口歌